



静岡市で日仏地方行政施策について意見交換 ～海外自治体幹部交流協力セミナー 2019～

(一財)自治体国際化協会交流支援部交流親善課 岩瀬 穂 (静岡市派遣)

海外自治体幹部交流協力セミナーは、クリア海外事務所管内の自治体幹部職員を日本に招へいし、地方自治体の現場の視察や行政施策に関する意見交換などを行う、クリアが国内の地方自治体の協力のもと行っているプログラムです。今年度は、パリ事務所管内からブルターニュ州やグラン・テスト州などのコミューンやコミューン共同体の自治体幹部職員5人が参加し、7月29日から8月7日までの期間、「市民一人ひとりの『暮らしの充実(安心・安全の確保)』を図る取り組み」というテーマのもと、セミナーを開催しました。

東京セミナー： 日本の地方自治と暮らしを守る取り組み

東京では、明治大学の木村俊介教授から日本の地方行政財政制度について講義を受講したほか、総務省を訪問し、地方公務員制度等について説明を受け、両国の社会情勢や地方自治制度の相違について意見交換を行い、知見を深めました。



総務省における地方公務員制度等に関する説明

また、今回のテーマに基づいて、安心して歳をとることができる暮らしの実現を目指し、ロボット技術を活用して「人」を支援する環境づくりを行う「大和ハウス工業(株)」や、最先端技術を活用して大型スタジアムの避難誘導システム開発などの危機管理の取り組みを行って

いる(株)リコーの「RICOH BIL Tokyo」、水防のための世界最大級の地下放水路である「首都圏外郭放水路」を視察しました。RICOH BIL Tokyo で最新の技術を体験



静岡市セミナー： 自治体間同士の交流を大切に

8月1日からは、静岡市において地方セミナーを開催しました。静岡市は、フランスのカンヌ市と姉妹都市であり、昨年10月にはカンヌ市と新たに政策研究に関する覚書を締結するなど、今まで以上にフランスとの交流深化や欧州におけるプロモーションを進めています。田辺静岡市長との面談では、人と人とのつながりが基礎になること、また、国勢に左右されない地域外交の強みなどについて発言があり、今後の日仏自治体間の交流促進に向け、お互いに意識を強めました。この後、静岡市セミナーでは、テーマに沿って「高齢者福祉」、「児童福祉」、「防災」の3つの分野で静岡市と参加者自治体による事例発表と意見交換を行いました。



田辺静岡市長と面談



「健康長寿世界一の都市」実現を目指す静岡市

静岡市は全国的に健康寿命を延ばす取り組みが最も進んでいるまちであり「健康長寿世界一の都市」の実現を目指しています。市民が連携して高齢者を地域で支え合う体制を構築している政策に対して、参加者からは「フランスでは高齢者支援は広域連合体が行うものだが、高齢者が住み慣れた地域の住民と関わり合いながらケアを受けられるのは良いことだ」など、両国の体制の違いを踏まえた発言があったほか、高齢者の自立性を確保した在宅ケアの取り組みの重要性について共感の声があがりました。

少子化を克服したフランスの取り組み

児童福祉の分野では、政策対応で少子化を克服したフランスにおける自治体の取組事例として、有資格者による出張保育サービスや保育所の受入れ時間の柔軟性、また、テレワークの推進や託児所付き文化施設の整備などによる母親のライフスタイルに対応した支援策などについて紹介がありました。一方、静岡市は2年連続で待機児童ゼロを達成するなど、子どもの保育所受入れ施策の推進などに積極的に取り組んでおり、フランスの保育所の運営体制や女性の就労支援などについて活発な質疑がありました。また、参加者は実際に子ども園などの施設を訪問し、子どもの受入れ状況や、子どもへのアプローチ方法などについて施設職員と幅広く意見交換を行いました。



静岡市 地域子育て支援センター登呂を訪問

全ての人が参加する危機管理体制へ

危機管理の分野では、静岡市側から地震、津波、風水害対策や防災体制などについて説明を受け、参加者から

は、フランスの国内危機管理体制をはじめ、沿岸地域の水害対策について発表を行いました。両国の風土や制度に相違はあるものの、住民参画の大切さや危機管理意識の啓発の重要性について、双方が認識を深めました。



静岡市と参加者の所属自治体の事例を発表

10日間のセミナーを終えて

参加者は、行政視察以外にも、ホームステイや旅館での宿泊で日本文化を体験したほか、健康長寿の秘訣となる地元食材を活用した食体験、さらには浴衣を着用して夏の風物詩である「清水みなと祭り」の花火鑑賞をするなど、静岡市の魅力も存分に体感しました。

全てのプログラムを終えて、参加者からは、「意見交換や視察、ホームステイなどのプログラムが素晴らしかった。学んだことを必ず業務に活かしていきたい」、「自治体同士の交流による得難い出会いや交流をすることができた」などの感想が寄せられ、静岡市からも、「フランス側の取り組みは本市の施策の形成に大いに参考になるとともに、フランスの自治体関係者との新たなネットワーク作りの良い機会となった」という声があり、日仏双方の参加者にとって、大変実りの多いセミナーとなりました。

今回のセミナーが日仏両国の地方行政における課題解決のきっかけになるとともに、このセミナーを通じて日仏の地方自治体間の交流がますます拡大・深化することを期待しています。



浴衣を着用して静岡市清水区の伝統行事「清水みなと祭り」へ